

締付トルク(端子ねじ及びスタッドボルト)

接続電線

配線用遮断器

器種	表面形						裏面・埋込形			
	ソルダレス	M5	M6	M8	M10	M12	M6	M8	M10	M12
30～50AF		2.5～3.5					4～5			
100AF				5.5～7.5					8～10	
225～400AF					20～27			10～13		
600～800AF						40～50				40～50
1000～1200AF						40～50				40～50
安全ブレーカ	1.5～2									
B-33EA B-32EB B-52EB B-53EA B-52S・53S		2.5～3.5					4～5			
B-52FKA・ 53FKA・54FKA			4.5～5					5.5～7.5		
B-62EB・63EA B-62S・63S B-62KA・63KA			4～5				4～5			
B-62F・63F			4～5				4～5			
B-103EA、B-103S				5.5～7.5					8～10	
B-123EA、B-153EA				5.5～7.5						13～16
B-222E・223E B-222S・223S B-252E・253E				8～13					20～27	
B222FB・223FB FB-223B				10～13				10～13		
B-402S・403S						40～50				40～50

■ご注意

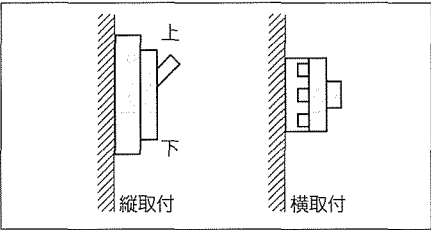
遮断器の特性は右表の試験電線で試験したものです。(JIS C8370等)この電線より細い電線を使用されると遮断器の温度上昇、不要動作を招くことがあります。ご注意ください。

遮断器の定格電流(A)	600Vビニル電線(mm ²)
15以下	φ1.6mm
20	φ2.0mm
30	5.5
40	8
50、60	14
75	22
100	38
125	50
150	60
175	80
200	100
225	125
250	150
300	200
350	250
400	2×100
500	2×150
600	2×200
800～1600	電流密度1.5～1.8A/mm ² の銅帯
1800～3200	電流密度1.0～1.3A/mm ² の銅帯

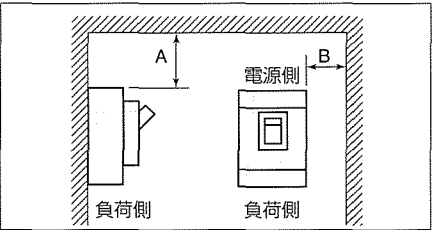
使用上のご注意

取付方向

■良い例



アークスペース

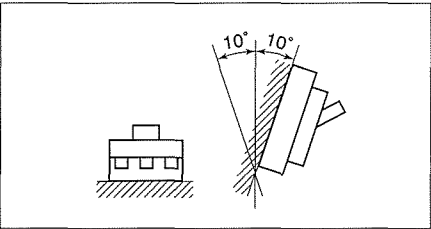


周波数による特性変化

高周波電流(400Hz、750Hz等)で使用される場合、うず電流、表皮効果、ヒステリシス損等による発生熱は熱動形でも影響があり400Hzでは時延引外し電流が約80%に低減されます。また、鉄損による吸引力低下により瞬時引外し電流は大きくなり、400Hzでは60Hzの約2倍程度になりますので使用にあたってはご注意ください。

完全電磁形においては可動鉄心における発熱、うず電流損による吸引低下等により使用はできません。

■悪い例(完全電磁形)



■ご注意

遮断器は鉛直面取付が基本です。熱動形、熱動電磁形の場合は、その他の取付面でも問題はありません。完全電磁形のものにおいては、鉛直面取付(10°以内)以外の取付では特性が変化しますので、ご注意ください。

フレームサイズ	最小寸法(mm)	
	A	B
75AF以下	30	25
100～250AF	50	40
400～800AF	80	50
1000AF以上	150	100

■ご注意

遮断器が大電流を遮断したとき、電源側の排気孔からアークガスが噴出します。この排気孔のすぐ近くにしゃへい物や導電材がありますとこの部分でアークによる短絡や、地絡事故を起こす可能性があります。このため遮断器取付にあたっては表に示すアークスペースが必要です。

■電源、負荷の接続

正接続を基本としています。逆接続では遮断性能が低下するおそれがありますので避けてください。

JIS C8370 標準使用状態

遮断器は次の標準使用状態で使用されるものとする。

■周囲温度は最高+40℃、最低-5℃の範囲内。ただし24時間の平均値は+35℃を超えないものとする。

■標高2000m以下。

■相対湿度は45～85%の範囲内。

■異常な振動及び衝撃を受けない状態。

■過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質等が存在しないふん囲気。